

「地域文化の研究・活用の

可能性と課題を考える



高浜虚子
〈松山市立子規記念博物館 所蔵〉



高浜虚子 句碑
〈えひめ森林公園〉

参加
無料

日時 令和6年9月29日(日)

13:00～15:30(開場12:30～)

参加申込締切 9月25日(水)

会場 愛媛大学南加記念ホール
(城北キャンパス内)

会場定員 150人(先着順) ※定員になり次第、受付を終了

開催方法：会場及びオンライン(Zoom)による併用開催

主催：愛媛大学地域協働推進機構

後援：愛媛県、愛媛県教育委員会
松山市、松山市教育委員会

プログラム

【開会挨拶】 杉森 正敏 (愛媛大学 理事・副学長／地域協働推進機構長)

〈第1部〉記念講演



阪西 敦子氏 (俳人)

「短さという『極楽』

— 高浜虚子生誕150年によせて —

〈第2部〉トークセッション

「地域文化の研究・活用を展望する」

【報告1】 小助川元太 (俳句・書文化研究センター長)

「俳句・書文化研究センターのこれまでとこれから」

【報告2】 胡 光 (四国遍路・世界の巡礼研究センター長)

「四国遍路研究の可能性」

【報告3】 井口 梓 (地域共創研究センター 副センター長)

「地域の記憶と経験を紡ぐ文化実践

— 内子町小田地区・芝居小屋の記憶 —

パネリスト： 阪西 敦子氏 (俳人)

寺谷 亮司 (地域共創研究センター長)

胡 光 (四国遍路・世界の巡礼研究センター長)

小助川元太 (俳句・書文化研究センター長)

【閉会挨拶】 寺谷 亮司 (地域共創研究センター長)

司会： 井口 梓 (地域共創研究センター 副センター長)

参加申込み方法は裏面



愛媛大学生と遍路道を歩く



地域協働による芝居小屋の調査



三輪田米山書〈愛媛大学図書館 所蔵〉

開催趣旨

愛媛大学地域協働推進機構地域文化研究の3つの文系研究センター（地域共創研究センター、四国遍路・世界の巡礼研究センター、俳句・書文化研究センター）では、これまで合同で「松尾芭蕉」「三輪田米山」「弘法大師」をテーマにシンポジウムを開催しました。

本年は、松山市出身で正岡子規に師事し、後に俳誌「ホトトギス」を継承して主宰した高浜虚子の生誕150年にあたります。そこで、俳人の阪西敦子氏に「短さという『極楽』—高浜虚子生誕150年によせて—」と題してご講演いただきます。また、本年4月の地域協働推進機構の設置を記念し、各センターから地域文化の研究・活用の可能性を論じ、トークセッションを交えながら展望していきます。

参加については以下のフォームからお申込みください。

参加申込みフォーム：URL <https://forms.office.com/r/sZZwVY4Dx0>

■お問い合わせ 愛媛大学地域協働支援部地域協働課

メール：bunkeicj@stu.ehime-u.ac.jp

TEL：089-927-8963 ※月～金（祝日を除く）9：00～17：00



*いただいた個人情報は、本シンポジウムに関するご連絡のみ使用させていただきます。

*大学構内には駐車スペースはございません。近隣の有料駐車場をご利用いただくか、公共交通機関をご利用ください。

*オンラインの場合は、パソコン、スマートフォン、タブレットでの参加が可能です。※Wi-Fi環境を推奨